

一般社団法人もも/まなびやもも

生まれ育つ環境に左右されず自分の未来に希望が持てる社会を目指して10代のこども・若者の居場所づくりをしています。居場所支援・暮らし支援・教育支援・相談支援などをおこなっています。不登校、発達障害、ひとり親家庭など孤立しやすい状況のこどもとともに、遊び、体験活動、学習指導、食事支援、相談支援などに取り組むスタッフを募集します。

私たちは、こども・若者が安心できる場を作り、信頼関係を築き、何かに取り組み自信を身につける機会を作っていきます。親でも先生でもないナナメの関係を大切に、こどもたちが安心して、本来の自分の力を発揮できる場をともにつくり、社会的自立を目指す伴走者となる仲間を募集します。

テーマ	こども・教育・福祉・社会的包摂	
募集要項	職種	現場スタッフ・事務局(総合業務)
	雇用形態	アルバイトorインターン(業務委託)(応相談)
	活動内容	ユースワーク(学習指導、食事支援、相談支援)環境整備、企画・運営、事務・運営関連など
	期待する効果	困難を抱えたり悩んだりするこども・若者に徹底的に向き合い、彼らの成長を支えていただきたいと思います。
	活動場所	高松市太田上町1287-6
	勤務時間	月曜日～土曜日/13:30-20:30の間に週2日～、約2～4時間/日～
	条件(期間、頻度、実習場所など)	<ul style="list-style-type: none"> ・6か月間以上参画できる方 ・週2回以上参画できる方 ・最初の4回は研修としてボランティア参画いただける方 ・毎月実施するスタッフ研修に参加できる方
	給与	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト 時給1,000円～1,100円 ・業務委託(インターン)月給4～6万円
	求める人物像	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人の理念やミッションへの共感、事業内容に関心のある方 ・心身ともに健康な方 ・業務に必要な知識を自ら学んでいく姿勢がある方 ・計画性をもって業務に取り組むこと姿勢のある方 ・運営に関して論理的に課題解決するための提案をする姿勢のある方 ・子どものよいときもそうでないときも、どんな時もありのままを受け入れようとする姿勢に共感できる方 ・こうあるべきという自分の考え方を押し付けない方 ・こども・若者との関わりの中で、自分たちにできることは何か、ニーズは何かを考え、仮説と実証、振り返りを繰り返すことができる方
	1か月目のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の4回は、居場所づくり、学習支援、食事支援など様々な現場の活動に参加していただき、団体の雰囲気を感じてもらいます。 ・その後、個別支援のステップなどを掴んでもらいます。 ・研修を終えたあと、ボランティア・アルバイト・業務委託でどの形態で参画していただくか相談して決めていきます。
	選考プロセス	<ol style="list-style-type: none"> 1:書類審査 2:面談1回 3:研修4回後の面談
	休日	日曜日、第5週目、年末年始(12月29日～1月3日)
スタッフ・ボランティア数	スタッフ 8名 ボランティア 約25名	
応募方法	お問い合わせフォーム HPのお問い合わせフォームからご連絡ください。「ボランティア・スタッフ希望」とご記載ください。	

	ホームページ	https://manabiya-momo.jimdofree.com/ 「まなびやもも」や「一般社団法人もも」とご検索ください
--	--------	--

仕事内容

・居場所づくり

対話、食事、ゲームなどを通じた関わりを通じて心の安全基地としての居場所を提供しながら、段階的に子どもたちとかがわり合います。

・学習への伴走支援

「できる」「分かる」などの小さな成功体験を重ねながら、学習を継続していくことができるよう支援をします。日々のこどもの努力を可視化しながら、学習意欲を高め効率の良い学びを習得するなどを実施しています。

・体験活動

ものづくり・スポーツなど、地域の人たちや他団体などを巻き込みながら、子どもたちに多様な体験機会を届けるための体験を企画・実施します。

・事務局運営(事務処理、マネジメント)

バックオフィスや子どもの興味関心に合わせた活動の企画・運営など...適性に合わせながらプロジェクトをお任せします。

すでにあるものをこなすのではなく、走りながら考え自分でつくっていくことを楽しめる方をお待ちしています！

仕事のやりがい

・肌で感じるこども・若者の成長

「様々な困難を抱えるこども・若者に徹底的に向き合う」という姿勢で支援に取り組んでいます。最初は不安そうな表情でやってきていたこどもも少しずつ楽しい時間や安心できる瞬間を積み重ねることで表情が明るくなり、信頼関係を築いていくにつれて少しずつ自分の思いや経験を話してくれるようになっていきます。こどもの自信や意欲が変容し、自立に向けて成長していく姿は心を動かされます。

・学びのある職場

「本当に目の前のこどものためになる支援とは何か？」を、こどもに寄り添いながら真剣に考え続ける現場です。学生、主婦、現役社会人、退職者ボランティアなど多様な経歴を持った方がいます。世代を超えて仲間として支援に取り組む過程で、互いに学び合い、視野を広げることができます。また、研修やミーティングを通じて、支援の方法・考え方を学ぶことができます。

スタッフの声

私は主に居場所支援、学習支援をしています。活動の中で最も大事にしていることは、こども・若者と同じ立場で話すことです。大人のボランティアスタッフだから、塾の先生だから関係ありません。こどもの話を同じ立場で聞き、一緒に喜び、一緒に悩み、一緒に感動することがなにより楽しいです。利用者さんが自分自身で決めたゴールに向かって進んでいく際のお手伝いができる、貴重な経験ができる場だと思います。また、まなびやももはボランティアスタッフ自身も自分らしく居られる場です。予想外のことや困ったことが起きるときもありますが、気軽に相談できる仲間がいるところがまなびやももの強みだと思います。(香川大学教育学部4年生)

代表者メッセージ 伊澤貴大、伊澤絵理子

元中学校教諭だった伊澤絵理子は学校や院内学級での子どもたちとの出会いにより、もっと一人ひとりに向き合う関わり方がしたいと考えるようになりました。そんな時、身近な家族が学校にいけなくなったことをきっかけに、家庭や学校に加えた第三の居場所づくりが地域の中にも必要だと感じました。そこで、祖父母の家だった空き家を改修し、2018年の夏からまなびやももの活動を始めました。

社会の課題を解決していくために本当に困難を抱える人達を支援することを大切に考えています。「社会事業」を、既存の仕組みでは支援の手が届かない人々を支援するためにあると私たちは考えています。「このサービスは本当に困難を抱える人々に必要とされているのか」を日々問い続け、定期的に調査などを実施しながら活動をしています。

ももには様々な背景で育つ子どもや若者がやってきます。一緒に「生まれ育つ環境に左右されず自分の未来に希望が持てる社会」をつくっていきたいと思っただけの方、ぜひご参画ください。